

株主メモ (証券コード：2911)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告
当社ウェブサイト <https://www.asahimatsu.co.jp/> に掲載

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

株主様へのご優待 保有株式数及び保有期間に応じて下記の基準で自社製品の詰め合わせを贈呈いたします。

3月31日現在

ご所有株式数	株主優待内容
100株以上	1,500円相当
200株以上	3,000円相当

優待品のお届け時期は6月中旬～を予定しております。

9月30日現在 3年以上継続保有*

ご所有株式数	株主優待内容
2,000株以上	3,000円相当

優待品のお届け時期は12月中旬～を予定しております。

*株主名簿の基準日(3月末日及び9月末日)の株主名簿に2,000株以上の保有記録が同一株主番号で7回以上連続している場合。

【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株式の買取などのお申し出

証券会社に口座のある株主様 ⇨ 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

特別口座をお持ちの株主様 ⇨ 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記連絡先をお願いいたします。

第76期報告書

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日



Asahimatsu Foods Co., Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C022915



この冊子は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しています。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第76期報告書（2025年4月1日から2026年3月31日まで）をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月

代表取締役社長 木下 博隆



当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調なインバウンド需要や雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあって景気は緩やかな回復がみられた一方、円安基調による原材料価格の高止まりや物流費・人件費の更なる上昇などによる物価上昇は継続しております。また、地政学上のリスクの高まりは景気の不安定要因となっております。

食品業界におきましても、輸入原材料等の調達コスト増、物流費・人件費などの上昇対応のため価格改定を実施する企業は多く、消費者の節約意識も高まっております。また、食品に対する安全・安心への要求は依然として強く、高い品質・衛生管理体制の維持・向上が求められており、そのためのコストも継続して増大しております。

このような状況のなか、当社グループでは継続して品質向上や商品の付加価値向上に積極的に取り組み、その広報に努めております。製造原価の上昇は避けて通ることができませんが、収益面への影響を抑えるため引き続き合理化、省力化、経費削減施策を実施しております。

当社グループの当連結会計年度の業績につきましては、過年度より数回にわたり実施した価格改定の影響もあり、販売数量の減少がみられ、売上高は76億8千6百万円（前年同期比4.1%減）となりました。利益面では、原材料やエネルギー価格など、製造コスト上昇が続いており、合理化や諸経費の削減などの施策を継続して図ってまいりましたが、販売数量の減少の影響も大きく、営業利益は8千7百万円（同61.1%減）、経常利益は2億5百万円（同33.3%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は海外子会社の出資を一部譲渡し特別利益を計上したことから2億3千万円（同3.4%減）にとどまりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

【凍豆腐】

凍豆腐では、「新あさひ豆腐」のブランドサイトを立ち上げ、健康機能性での特徴や美味しさ、品質面でのこだわりや簡便調理の改善など他社との差別化を含め広報・営業活動を行ってまいりました。この活動は高野豆腐の健康機能性が子育てファミリーの支援につながる「第6回日本子育て支援大賞2025」の受賞や、大阪・関西万博での災害対策備品として採用されました。そのほか、フードロス削減の観点から原料大豆にもこだわり、賞味期限の延長にも寄与する高オレイン酸大豆を使った商品の開発・発売など付加価値の向上に努めてまいりました。市場の拡大のため凍豆腐のから揚げを発売し食べ方の提案を含め販売チャネルの開拓も行ってまいりました。さらには最需要期となる年末にはテレビコマーシャルを実施し高野豆腐の認知を高め需要喚起を図りましたが、価格改定などの影響は大きく販売数量が減少し、売上高は33億5千2百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

【加工食品（即席みそ汁等）】

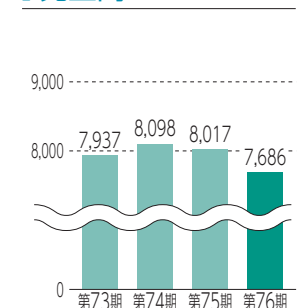
加工食品では、継続して単品収益管理を徹底し収益力の向上と商品改廃のスピードアップを図っており、大流通等との企画商品の開発・発売やリニューアルを行ったほか、12月には「カップ生みそずいとん汁」などがメディアに大きく取り上げられ話題となりました。しかしながら、販売数量の減少などにより、売上高は23億3千6百万円（同3.0%減）と減少いたしました。

【その他食料品】

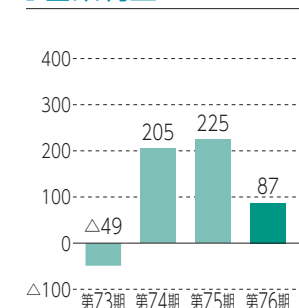
その他食料品のうち医療用食材については、えん下困難者向けの調理済み・形態調整済み食品として豊富なメニューを取り揃え、病院・介護施設での厨房業務の省力化や標準化、人手不足の解消などに寄与しております。さらに最新の製造設備を導入し、美味しさや安全性などを向上させた商品案内のダイレクトメールの発送など拡販に努めましたが、その他食料品全体では、売上高は19億9千8百万円（同5.5%減）と減少いたしました。

業績の推移（連結）

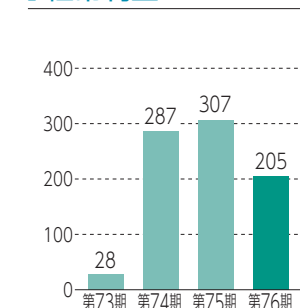
■ 売上高 (単位：百万円)



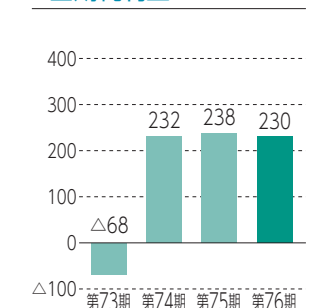
■ 営業利益 (単位：百万円)



■ 経常利益 (単位：百万円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



トピックス

子育てファミリーの健康と時短をサポート！ “手軽で簡単”が評価され「日本子育て支援大賞」 高野豆腐で初受賞

当社が販売する高野豆腐「新あさひ豆腐」シリーズの『新あさひ粉豆腐』および『新あさひ豆腐うす切り』が、一般社団法人日本子育て支援協会主催「第6回日本子育て支援大賞2025」を受賞いたしました。

▶受賞理由について

子どもの成長に欠かせない栄養素を豊富に含む高野豆腐を、日常生活に“手軽で簡単”に取り入れられる点や、一般的な高野豆腐と比べ95%減塩に成功した“健康機能性への取り組み”が「子育てファミリーの支援につながる」と評価されました。



『新あさひ粉豆腐』は高野豆腐を粉末状にしたもので、離乳食や幼児食に取り入れやすいのが特長です。『新あさひ豆腐 うす切り』は“湯戻し不要”“電子レンジ調理可能”といった時短調理に最適な点が特長です。今後もより身近に、より簡単にお使いいただけるよう、人の成長段階や生活スタイルに応じたさまざまな商品をお届けしてまいります。



『日本子育て支援大賞』とは…

一般社団法人 日本子育て支援協会が主催し、「日本子育て支援大賞」というアワードを通して、子育てに良い商品、サービスがたくさん生まれてくることを支援していくために設けられています。子育てを取り巻く衣食住に加え、日常雑貨、アプリケーションなど幅広い領域が対象となっており、特に顕著な特色や配慮・工夫がみられ、子育て世帯に大いに役立ち魅力的だと評価された企業・自治体に贈られます。

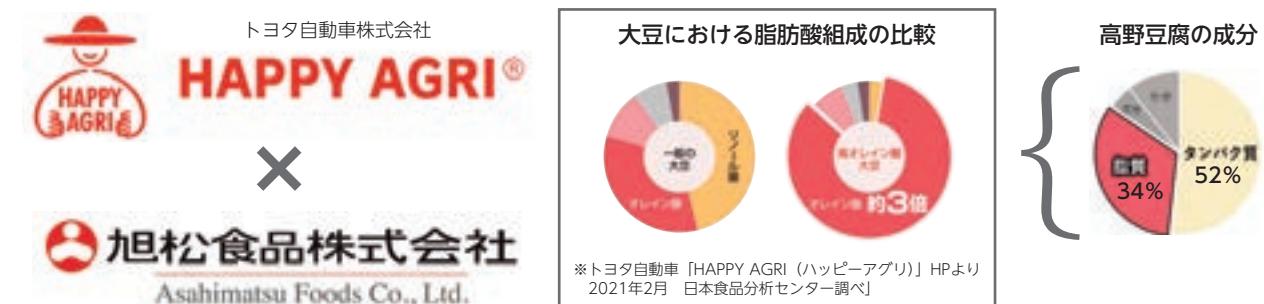
トヨタ自動車(株)が普及を進める高オレイン酸大豆を原料とした新世代の高野豆腐製品を新発売！

当社は2026年3月より、トヨタ自動車株式会社が佐賀大学・九州大学と共同で開発した大豆を原料とした新商品を発売します。

トヨタ自動車は、自動車生産やバイオ技術開発で培った経験とノウハウを活かして、農業の持続的な発展に向けた取り組み（「HAPPY AGRI®」）を進めています。

その中で、オレイン酸を多く含む大豆（「高オレイン酸大豆」）の開発・生産・出口づくりを一気通貫で繋ぐ『国産大豆応援プロジェクト』を立ち上げ、「国産大豆のおいしさをみなさまにお届けしたい」という想いを共にする仲間と一緒に、食料自給率や生産性向上のための活動を展開しています。

当社は、トヨタ自動車が進める同プロジェクトに賛同し、当該大豆を用いた新商品の開発に至りました。



・小さな新あさひ豆腐粉末調味料付

高オレイン酸大豆による、ふんわりやわらかな食感が感じられる高野豆腐。添付の粉末調味料により時短で簡単に、深いコクと旨みのある仕上がりになります。

弁当・常備菜・簡単調理向けの家庭用商品です。



・なめらかおからパウダー 120g

食物繊維が豊富で、水分吸収力が高いため料理のかさ増し・糖質調整に便利です。

高オレイン酸大豆を使うことで、一般のおからに比べて香りが優しく、豆臭さが少ないのが特徴です。

▶ 連結財務諸表等

• 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2025年3月31日現在	2026年3月31日現在
資産の部		
流動資産	5,026,849	4,889,809
固定資産	5,207,560	5,428,172
有形固定資産	4,170,658	3,976,252
無形固定資産	149,407	102,315
投資その他の資産	887,494	1,349,603
資産合計	10,234,410	10,317,981
負債の部		
流動負債	1,311,506	1,127,365
固定負債	657,108	793,237
負債合計	1,968,615	1,920,603
純資産の部		
株主資本	7,716,282	7,871,135
その他の包括利益累計額	475,145	526,243
非支配株主持分	74,366	-
純資産合計	8,265,795	8,397,378
負債・純資産合計	10,234,410	10,317,981

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

• 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2024年4月1日から 2025年3月31日まで	2025年4月1日から 2026年3月31日まで
売上高	8,017,567	7,686,918
売上原価	5,730,474	5,585,527
売上総利益	2,287,092	2,101,390
販売費及び一般管理費	2,061,280	2,013,604
営業利益	225,812	87,786
営業外収益	93,881	127,327
営業外費用	12,162	9,838
経常利益	307,531	205,275
特別利益	5,126	170,007
特別損失	7,250	64,447
税金等調整前当期純利益	305,408	310,835
法人税、住民税及び事業税	53,787	55,749
法人税等調整額	9,714	21,901
当期純利益	241,906	233,184
非支配株主に帰属する当期純利益	3,088	2,473
親会社株主に帰属する当期純利益	238,817	230,711

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

• 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2024年4月1日から 2025年3月31日まで	2025年4月1日から 2026年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	478,749	397,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△496,042	△69,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,784	△49,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,928	△15,043
現金及び現金同等物の増減額	△18,148	263,217
現金及び現金同等物の期首残高	980,772	962,624
現金及び現金同等物の期末残高	962,624	1,225,841

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 会社の概要 (2026年3月31日現在)

商号 旭松食品株式会社
ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.
本店 長野県飯田市駄科1008番地
本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号
設立 1950年12月19日
資本金 1,617,844,105円
子会社 旭松フレッシュシステム株式会社
従業員数 グループ人員：257名
当社人員：232名
主な事業内容 大豆加工製品の製造及び販売
主要製品 家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、
即席みそ汁、スープ類、オートミール、
医療用食材等

▶ 株式の状況 (2026年3月31日現在)

- ①発行可能株式総数 5,680,000株
- ②発行済株式の総数 1,876,588株
- ③株主数 4,558名
- ④大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社八十二長野銀行	89,620株	4.82%
木下博隆	55,990株	3.01%
赤羽源一郎	55,834株	3.00%
国分西日本株式会社	54,885株	2.95%
藤徳物産株式会社	54,885株	2.95%
佐々木寛雄	53,100株	2.85%
株式会社大乾	44,885株	2.41%
株式会社日阪製作所	42,600株	2.29%
株式会社ホワイトフーズ	36,000株	1.93%
赤羽栄子	27,300株	1.46%

※当社は自己株式18,620株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ 取締役及び監査役 (2026年6月26日現在)

代表取締役社長 木下博隆
常務取締役 蒲田充浩
経営企画部長
常務取締役 村澤久司
研究開発本部長
取締役 足立恵
経営管理部長
取締役 平澤公夫
生産本部長
取締役 牧野太郎
営業本部長
兼西日本支店長
取締役(社外) 浜村九二雄
取締役(社外) 小濱賢二
常勤監査役 寺岡義裕
監査役(社外) 伊坪眞
監査役(社外) 近藤貴俊

▶ 地域別株主数分布状況

(2026年3月31日現在)

